

2020年9月20日

北海道新聞

「地産地消の電力網構築へ 北大・日立 岩見沢で実証実験」
(実験数理研究分野)

北海道新聞 どうしん電子版



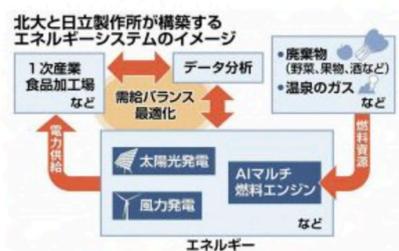
ニュース > 北海道

北海道 主要 経済

シェア ツイート

地産地消の電力網構築へ 北大・日立 岩見沢で実証実験

2020/09/20 05:00



北大と日立製作所（東京）は、地域内で電力を自給自足するシステムの構築に乗り出す。日立が開発中の複数の燃料に対応する発電装置を使い、食品残渣（ざんざ）や温泉から発生するガスを燃料として活用する実証実験を実施。太陽光などの再生可能エネルギーと組み合わせるとともに需給変動も把握し、早ければ5年後をめどに地産地消の循環型エ

ネルギーシステムを確立する。

日立が開発している発電装置「人工知能（AI）マルチ燃料エンジン」は、野菜や果物、酒などの廃棄物や温泉をくみ上げる際に発生するガスを燃料として使う。道内では燃料の元となる農産物や温泉が豊富で、地域資源を生かした発電が可能となる。

地域課題の解決に向けて北大構内に2016年に開設した「日立北大ラボ（研究室）」が中心となり、早ければ本年度中に岩見沢市内で実証作業を始める。まずは1～2年かけて温泉から発生するメタンなどが含まれるガスの成分を分析し、発電能力や燃焼効率などを検証。その後、野菜などの廃棄物でも同様の実験を行う考えだ。

構想では、太陽光や風力といった再生可能エネルギーと組み合わせ活用する。ビニールハウスや食品加工場で必要な電力を賄うことを想定しており、農家や事業者側の需要の変動もデータ化する。電源ごとの発電量や施設などの消費電力量を予測することで、効率的なエネルギー利用を目指す。

今後、関係機関にも参加を呼びかける予定。北大産学・地域協働推進機構の吉野正則客員教授は「自立したエネルギーシステムの構築を通じ、地域産業の発展につなげたい」と話している。（土屋航）

2021年2月16日

「北海道大学×日立北大ラボ 第2回フォーラム」

竹本 享史（実験数理研究分野）

本フォーラムは、

岩見沢市における母子の健康や

農産業を軸とした地方創生、

北海道の地域特性を活かした

地産地消エネルギーシステム、

フードロスの

解決に向けた取り組み、

withコロナ時代における

新しい働き方とDXをご紹介し、

少子高齢化社会や

地域経済の発展に向けた

これからの

まちづくりのあり方を

みなさまと議論・共有することで、

未来を協創するための場です。

出演者（出演者は変更になる場合があります。）

【基調講演】

小宮山 宏[三菱総合研究所 理事長]

【講演】

福岡 淳[北海道大学 触媒科学研究所 教授]

玉腰 暁子[北海道大学 医学研究院 教授]

札幌啓成高校/本別高校/奥尻高校
[高校生アイデアソン 選出グループ]

NTT東日本 代表

山田 真治[チャレンジフィールド北海道 総括エリアコーディネータ]

竹本 享史[日立製作所 日立北大ラボ ラボ長代行]

【パネルディスカッション】

増田 隆夫[北海道大学 理事・副学長]

皆川 和志[北海道電力 常務執行役員 総合研究所長]

洲上 玲子[ARCS GROUP 業務改革室 マネージャー]

松野 真由子[日立製作所 金融営 企画員]

吉野 正則[日立製作所 基礎研究センター シニアプロジェクトマネージャー]

【主催】

北海道大学/
日立北大ラボ/
北海道大学COI

【共催(予定)】

北海道/岩見沢市/北海道経済
連合会/北海道科学技術総合振
興センター/北海道立総合研究機
構/産学融合拠点創出事業「チャレ
ンジフィールド北海道」/
文部科学省/経済産業省/内閣府



日立北大ラボ

国立大学法人北海道大学と
株式会社日立製作所のコラボ
レーションから生まれた共同研
究チーム。社会課題解決と超ス
マート社会を支えるSociety5.0の
実現に向けたイノベーションを創造
する活動を推進している。

HOKKAIDO UNIVERSITY

第2回フォーラム

HITACHI HOKUDAI LAB.

北海道大学 × 日立北大ラボ

Society5.0 北海道の未来

2021年2月16日(火) 14:00~17:10 (開場12:30) **参加無料**

サイトオープン
12月25日(金)
午前0時。

1月8日(金) 申込受付開始

2021年2月2日(火) 締切

参加
形態

サッポロファクトリーホール
北海道札幌市中央区北2条東4丁目

定員200名

オンライン
での参加

定員1,000名

右記、ウェブサイト内の申込みフォーム(<https://tsumii.com/jp/hf2021>)からお申し込みください。※下記の電話・FAX・E-mailからはお申し込みできません。

【お問い合わせ】 日立北大ラボ事務局 ☎ 011-706-9618(FAX可) ✉ hokudailabo.20200214.p2@hitachi.com



2020年2月14日

「北海道大学×日立北大ラボフォーラム」
(実験数理研究分野)

日立北大ラボ
国立大学法人北海道大学と株式会社日立製作所のコラボレーションから生まれた共同研究チーム。社会課題解決とスマート社会を支える Society 5.0 の実現に向けたイノベーションを創造する活動を推進している。

2020 北海道大学 × 日立北大ラボフォーラム

Society 5.0 北海道の地方創生と未来

2020年2月14日(金)
14:00~17:40 (開場13:00)

【会場】
共済ホール
〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西1丁目1-6
共済ビル6F

◆基調講演:岩見沢市における地方創生 【14:25>14:45】
【「健康経営都市」を目指す産学官連携の取り組み】松野 哲/岩見沢市 市長

◆講演1:北海道の課題提起 【14:45>15:25】
【地域をつなぐネットワーク】澤出 剛治/NTT東日本 北海道事業部 ビジネスイノベーション部長
【地域と共生するエネルギー事業(仮)】菅川 和志/北海道電力株式会社 執行役員 総合研究所長

◆講演2:課題解決に向けた取組み 【15:45>16:45】
【母子健康、腸内環境(仮)】玉腰 暁子/北海道大学 医学研究院 教授
綾部 時芳/北海道大学 先端生命科学学研究院 教授
【スマート農業】野口 伸/北海道大学 農学研究院 教授
【健康データの活用、新しい自律分散エネルギー(仮)】竹本 享史/日立製作所 日立北大ラボ ラボ長代行

◆パネルディスカッション「北海道の未来」 【16:45>17:30】
【モデレータ】吉野 正則/日立製作所基礎研究センター シニアプロジェクトマネージャー
【パネリスト】丸谷 知巳/地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事
中山 元太郎/北海道大学 公共政策大学院 教授
尾作 勝弥/株式会社NTTドコモ 北海道支社 法人営業部 部長
武田 安弘/森永乳業株式会社 研究本部 健康栄養科学研究所 執行役員 所長
西村 信治/日立製作所 基礎研究センター センタ長

◆名刺交換会 【18:00~】 ANAクラウンプラザホテル札幌 3F 鳳(大宴会場) ※1

【出演】
北海道大学 工学部 教授 松野 哲
日立北大ラボ 共同研究員 菅川 和志
北海道大学 農学研究院 教授 野口 伸
北海道大学 先端生命科学学研究院 教授 綾部 時芳
北海道大学 医学研究院 教授 玉腰 暁子
NTT東日本 北海道事業部 ビジネスイノベーション部長 澤出 剛治
北海道電力株式会社 執行役員 総合研究所長 菅川 和志
日立製作所 日立北大ラボ ラボ長代行 竹本 享史
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事 丸谷 知巳
北海道大学 公共政策大学院 教授 中山 元太郎
株式会社NTTドコモ 北海道支社 法人営業部 部長 尾作 勝弥
森永乳業株式会社 研究本部 健康栄養科学研究所 執行役員 所長 武田 安弘
日立製作所 基礎研究センター センタ長 西村 信治

プログラム
プログラム 講演者は変更される場合があります。

多くの市民、教職員および学生の皆さまのご参加をお待ちしております。

【参加申し込み】
2020年1月29日(水) 締め切り
右記、申込みフォーム(<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/event/form.jsp>)からお申し込みください。
【お問い合わせ】
日立北大ラボ事務局 電話: 011-706-9618(FAX可) E-mail: hokudailabo.20200214.pz@hitachi.com

定員400名 参加無料 参加無料の対象はフォーラムのみとなります。
※1.名刺交換会は会費3,000円(先着250名)となります。